

女性分科会ニュース

平成 25 年度女性分科会活動報告

発行日 2014年4月1日
発行 公益社団法人 大阪府建築士会
事業委員会 女性分科会
〒540-0012
大阪市中央区谷町3-1-17
高屋大手前ビル5F
tel 06-6947-1961 fax 06-6943-7103
URL http://www.aba-osakafu.or.jp/
Mail info@aba-osakafu.or.jp

◇滋賀工場バスツアー～TOTO 滋賀工場+LUPICIA 滋賀工場 見学会～

開催日：平成 25 年 11 月 26 日(火)
女性分科会に年に 1 回程度開催しているバスツアーです。今年度は、滋賀にある 2 つの工場を見学させていただきました。

<TOTO サニテックノ滋賀工場>



TOTO の衛生陶器生産を担うグループ会社。1876 年に森村組として創立。1904 年に日本陶器合名会社創立（現食器のノリタケ）その中に製陶研究所があり、これが TOTO の始まり。あまり知られていないが、昭和 45 年まで食器も生産していた。

滋賀工場は、2012 年に世界最新の設備を備えた新西棟が完成。京阪神、中京地区への供給体制を担っている。外壁には、ハイドロテクト（光触媒効果）の塗料。太陽光パネルを設置して、主に事務所の照明分を賅っている。省エネバーナーの利用や、エアコンダクトに段ボールを利用など、工場全体のエコ化にも努めている。

◆ 工場見学

1. 調製 原料を粉砕
2. 成型 原料を型に流し込む。加圧成型式 型替えが 18 分で可能。リム部（縁）と胴部を別々に作成 リムを返したり、胴部の持ち上げ、接着剤の塗布などは、ロボットの作業。接着面の点検や細かい個所の仕上げは人の手による。
3. 乾燥室 39 時間の乾燥と 3 時間の冷却 セラミックのバーコードを

取り付け、徹底した品質管理を行っている。

4. 施釉 ロボットアームで釉薬を吹き付ける「ロボット施釉」
- 2 分/1 コ吹き付け 吹き付け厚さ 0.7mm 焼成すると 0.4mm になるヒーターで乾燥させ、2 回目にセフィオンテクトの吹き付け
- 他社と違い、焼成前に施釉するところが、TOTO の技術
5. 焼成 製品ぎりぎりのトンネル窯で、7～8 時間かけて、1180℃で焼成。都市ガス利用だが、排熱を、焼成工程、乾燥室の熱源として利用している。セラミック窯で、土日に火止めが可能。

6. 検査 経験豊富な検査員による全数検査 目視と打音検査 金属音が高いと OK
- 社員食堂で、昼食のお弁当をご馳走になりました。

チリひとつない工場での人とロボットが協調しながら働いている様子がとても素敵で、ロボット君のけなげな姿が印象的でした。それにしても、やはり最後は人の五感と経験、知識なんですね。世界の TOTO の技術をよく知ることができました。

<LUPICIA 滋賀工場>



紅茶・緑茶の工場 自社で買い付けた茶葉を異物処理、ブレンド等の工程を経て、商品化している。

アメリカ、オーストラリア等海外向けの商品はこの水口工場から直接出荷。特にアメリカ向けの商品は、原発問題により、関東からは未だ出荷できない状況にある。

お話を伺ったのは、2 階の社員食堂。美しい紅葉が見える。構造体を感じさせず、周りの景色がそのまま目に入ってくる。建築主の「働く人が楽しく、幸福だと感じてもらえるような工場」という要望が、よく表れている。

外観の印象的な庇は、プラットフォームという出荷場所を覆う屋根で、雑誌で見ると、コンクリート打ち放しかと思われるほどの重厚感がある。実はアルミうづくり仕上げ。気仙沼の高橋工業という造船業が製作。3mm 厚をロール発注し、グラインダーで傷をつけて仕上げ。皇居のトイレにも使用されているそうである。2500 x 8000 のパネルを現場で接合。キーストンプレートとカット T を特殊技術で接合し、複合パネルとしている。このうづくり仕上げという手作業がアルミを軽量という質感とは全く異なったものに仕上げている、見るものに訴えかけてくる。設計者の力もすごい、それを現実化する竹中工務店の技術力は素晴らしい、現場を担当された方々の苦労と力量に感服した。

今回の 2 つの工場見学で、やはり人の力はすごいなと思いました。多くの人の手と気持ちが詰まれば詰まほど、出来上がったものが人の心を打ちます。日々、小さな仕事に追われていますが、次元は違いますが、そんな仕事を少しでもできたらなと感じた見学会でした。

上田仁美

◇近畿建築士会協議会女性部会 合同見学会「京都大学近代建築見学会」に参加して

日時：平成 25 年 11 月 2 日（土）
場所：京都大学医学部創立百周年記念施設 芝蘭会館別館

参加者：48 名（大阪から 4 名参加）

■『京都大学における住宅研究』

講師：京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授 高田光雄氏

日本における「住宅」の研究の先駆け的存在で継続して住宅研究をしているのが京都大学である。建築計画は武田五一、環境工学は藤井厚二から始まり、住宅はあらゆる建築の原点である。住まいとは何か？如何にあるべきか？という住まいの本質を問い続け、「住宅は最も私的な建築である。と同時に、「最も社会的な建築である」ことを研究し続けている。京都大学における住宅研究の先駆者は一二三？である。武田五一、藤井厚二、西山卯三 の一二三

その後も京大の住宅研究は続けられ、高田先生の最近の取り組みを紹介していただき講義終了。

■『京都大学キャンパスの近代建築』

講師：京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授 石田潤一郎氏

現在の京都大学吉田キャンパスは、明治 22 年開学の第三高等学校と同 30 年開学の京都帝国大学によって生み出され、120 年くらいの歴史がある。関東大震災で被害を受けた東大は、その後ひとりの建築士のもとに理路整然としてキャンパスづくりがされたのに対し、京都大学は、幕末の屋敷跡地に周辺の土地を買いながら、モザイク的につくられたキ

ャンパスとなっている。明治 19 年東京帝国大学に次ぐ高等学校を京都に置くことを文部省が決定し、文部省技師の山口半六と久留正道が設計に携わった。明治 22 年に本校（大正の初め焼失）と寄宿舎、物理学実験場、表門（当時は赤レンガ）ができた。創立時の京都帝国大学の建物は、ほとんど三高のものであったそうだ。

昼食後は石田先生の案内で大学構内の近代建築を見学しました。京大のシンボルの百周年時計台記念館（旧本部本館）（1925 年 武田五一）は直線的な装飾や平面的な外壁面にセセッションの影響が色濃い。時計台が後方に引っ込んでいて、控えめで穏やかな印象。緩い感じの京大の雰囲気が出ている。イスラム風モチーフが使われている。旧三高物理学実験場（山口半六、久富正道）（1889 年）は 124 年前の京大校内で現存する一番古い建物。明治 31 年に旧理学部物理学および数学教室棟が作られ、一体化した。近江八幡で焼かれた煉瓦を使っている。法経済学部本館（1933 年 大倉三郎）は RC3 階建て、地下 1 階。コの字型平面。太平洋戦争をはさみ完成に 20 年近くかかった。300 人収容の扇型の大教室があった。工学部土木工学教室本館（1917 年 永瀬、山本治兵衛）は大正期の京大赤煉瓦建築の代表。マグサ、窓台が白御影で装飾的、大きな窓が特徴。旧工学部建築学教室本館（1922 年 武田五一）は京大最初の RC 造、陸屋根。武田は早い時期か



ら RC に着目し、土木の日比忠彦教授と挑戦してきた。外装も平滑なチョコレート色のタイルで、被膜のような薄い壁のあり方を印象づけている。セセッションを基調とする革新的な手法で一貫している。今は施工の問題で雨漏りやカビがひどく、ジャンカが多く、耐震改修中だが、改修後は建築学科には帰ってこないのが寂しいと高田先生が言われていた。

昔は建築学科の先生たちが営繕に関わり素晴らしい建物が建てられたのに何時の頃からか蚊帳の外に追いやられ、京大のシンボルである赤煉瓦建築が壊されていったのが残念だと言われたのが印象に残りました。

朝から夕刻まで目いっぱいの見学会でしたが、高田先生、石田先生、衛藤会長と子ども熱心に解説してくださり、最後まで私達に付き合ってください、とても有意義な一日でした。平日なら校舎も開いているので機会があれば歩いてみてください。

材寄法子

◇ちょっと知りたい建築セミナー 一設備編一「LED の今」～LED を使いこなそう～

開催日：2013 年 11 月 5 日(火)

会場：日建学院梅田校

梅田グエートワー3F

講師：日根伸夫氏 西村美由紀氏
昨今の LED 照明の急激な普及により価格が低下し、節電意識が高まってきており、特に公共施設においては、高天井用、景観、道路照明などハイパワー化が進んできている。LED ならではの特性を生かした器具ができ、

小型化が進み、調色、調光、また全方向に光が拡散する器具もできた。「綺麗に見える」とはいついどういう事だろうか？それは自分が期待する色が鮮やかに、良く見えるという事である。実験によって比較することで白熱灯と電球型 LED、白熱灯とボール球型 LED、LED ダウンライト電球色と電球型 LED 電球色との違いなど、今まで気が付かなかったよう

な大切なことが学べ、LED の光源の性質が良くわかった。



大阪府建築士会・女性分科会からのお知らせ

<お知らせ内容>

- ★ 平成 26 年度分科会メンバー・勉強会メンバー募集 <他委員会の委員も募集しています>
- ★ 平成 25 年度の女性分科会の活動 分科会活動 勉強会活動
- ★ 募集中の行事案内
 - 合同発表会「CORE2014」(女性分科会・青年分科会・住宅を設計する仲間達ほか)

★ 女性分科会とは？

女性会員が中心となって企画・運営を行っています。公私とも多忙な女性建築士ですが、チームワークと協力体制で、実り多い活動をモットーとしています。(女性会員約 226 名 現在分科会メンバー 24 名)

<平成 26 年度メンバー募集！>

*** 平成 26 年度のメンバーになって下さる方を募集しています ***

平成 26 年度は、公益法人 2 年目、さらに活発な活動と新企画で、会員の皆様にとって有意義な活動を展開していくとともに、一般市民に向けて、建築士という職種を広く一般にアピールしていきます。皆様のご意見、ご希望をもっとも活動に反映したいと願っています。興味のあること、知りたいこと、なんでも一緒にやってみませんか？ 職場の限られた人間関係だけでなく、いろいろな人と出会い、交流を楽しみながら、建築士としての知識を増やし、また、日々の仕事に役立つこともたくさん見つかります。困ったこと、わからないこと何でも気軽に相談に乗ってもらえる友人がたくさんできます。ぜひご参加下さい。 ※ 分科会メンバーの任期 原則 2 年…再任可

*** 女性分科会以外の委員会の委員もあわせて募集しています ***

各委員会とも女性会員の方に委員になっていただきたいとの要望が出ております。希望される委員会があれば委員として名乗りを上げていただきたく願います。

★ 女性分科会平成 25 年度活動内容

代表／中島 薫 副代表／石貫 方子

分科会メンバー／浅田 環 池本慶子 石貫方子 市川みゆき 井上まるみ 上田仁美 大野治代 小林美登

材寄法子 曾我部千鶴美 竹田敦子 田代加奈 辻 孝姉 中島 薫 西田多美子 西川三記子 西野智子

春岡須磨子 藤原由紀 松田加代子 水畑真知子 三宅登美恵 山本尚子 渡辺和世

委員総数 24 名

女性分科会全体会議開催日： 4/2 5/16 6/27 7/25 8/22 9/26 10/24 11/28 12/26 1/30 2/27 3/27

A セミナー・見学会の企画

建築計画や設計・施工に関するセミナーはもとより、日頃から興味を持っている建築物や構造物に直接出向き、その由来・根拠・テクニック等々についてのお話を伺いながらの見学など、盛りだくさんに活動を広げています。企画が決まりましたら「建築人」などで建築士会会員の皆様にお知らせ、実施します。ご参加は勿論のこと、メンバーになって貴方の企画を実現させてみませんか。 リーダー／石貫 方子

*平成 25 年度に企画・実施した事業

1. すぐに役立つ実践塾

「確認申請のい・ろ・は」第 2 弾 ～簡単な木造 2 階建てを申請しよう～ 講師：田中克之氏

11/08 (金) 第 1 回 確認申請の流れ 参加者：21 名

11/15 (金) 第 2 回 さまざまな算定方法 斜線の算定 参加者：25 名

11/22 (金) 第 3 回 壁量計算 採光計算 換気計算 参加者：23 名

11/29 (金) 第 4 回 申請図面の仕上げ・書類の作成 参加者：22 名

2. ちょっと知りたい建築セミナー

11/05 (火) ー設備編ー「LED の今」参加者：11 名

3. 見学会

①妹島和世氏による京都の集合住宅「NISHINOYAMA HOUSE」見学会

11/11 (月) 参加者：18 名

②TOTO 滋賀工場+LUPICIA 滋賀工場見学バスツアー

11/26 (火) 参加者：17 名

B ユーザー向け事業

- ・大阪市立住まい情報センター 平成 25 年度 住まいのなるほどセミナー連続講座 女性建築士と一緒に解決！ 住まいのお悩み相談会
 - 第 1 回 5/25(土) ～ part1 住まいづくりの問題点を一緒に考えよう～
 - 第 2 回 6/08(土) ～ part2 リフォーム相談ワークショップ



C その他の活動

- ① 近畿建築士会協議会女性部会 合同見学会 京都大学近代建築見学会
開催地：京都 11/02(土) 4 名参加
- ② 近畿建築士会協議会女性部会 交流会 グランフロント大阪ナレッジキャピタル 4 階 積水ハウス 住ムフムラボ「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」
開催地：大阪 12/21(土) 12 名参加
- ③ 第 23 回全国女性建築士連絡協議会 東京大会
「地域と共生する居住環境づくり」～見直そう、これからの住環境と暮らし方～
開催地：東京 7/13(土)7/14(日) 7 名参加

D 勉強会活動

女性分科会では毎月勉強会を開いています。今年度の活動内容は下記をご覧ください。男性会員の方も参加歓迎です。参加したいという方は、FAX・メール等で事務局までご連絡下さい。

なお、メンバーになりたいと考えておられる方へのガイダンスも兼ねて合同発表会「CORE2014」を 4/19(土)に開催しますので奮ってご参加下さい。詳細につきましては士会 HP をご覧ください。

勉強会リーダー／材寄法子 西田多美子 メンバー／22 名 定例会／毎月 6 日 18:30～20:30(原則)

*平成 25 年度の活動内容

4 月例会	見学・勉強会	エネルギーの今	省エネの技術的基準を学習する
5 月例会	勉強会	バリアフリーの今	バリアフリー展 2013 報告会
6 月例会	見学・勉強会	住宅設備の今	パナソニックショールーム見学会+高齢者施設向け設備
7 月例会	見学・勉強会	木材の今(1)	十津川村森林組合の取組み 木灯館見学
8 月例会	勉強会	高齢者住宅の今(1)	米沢なな子氏の話聞く(高齢者住宅情報センター長)
9 月例会	勉強会	UD の今	共用品推進機構からレクチャーを受ける
10 月例会	勉強会	防災の今	福祉避難所について考えよう
11 月例会	勉強会	LED の今	LED を使いこなそう(全体企画へ)
12 月例会	見学・勉強会	木材の今(2)	地域材利用拡大のための現地検討会(バスツアー参加)
2 月例会	見学・勉強会	高齢者住宅の今(2)	木造サ高住見学会(エイジフリーハウス枚方香里)
3 月例会	勉強会	今年度のまとめ、来年度の活動計画	

「住空間に関すること」「高齢者の生活」について、
ほぼ交互に取り上げています。



十津川村木灯館での
見学と勉強会の様子

■ 事務局からのお願い・・・下記の方は FAX・郵送で事務局に必ずご連絡下さい。

- ・本会への届出事項に変更が生じた方
- ・建築士合格後、準会員から正会員になる手続きをされていない方
- ・2 級建築士の方で、1 級建築士になられた方

※特に新しく建築士になられた方や 2 級から 1 級になられた方で大阪府以外での登録の方は必ずご連絡下さい。